

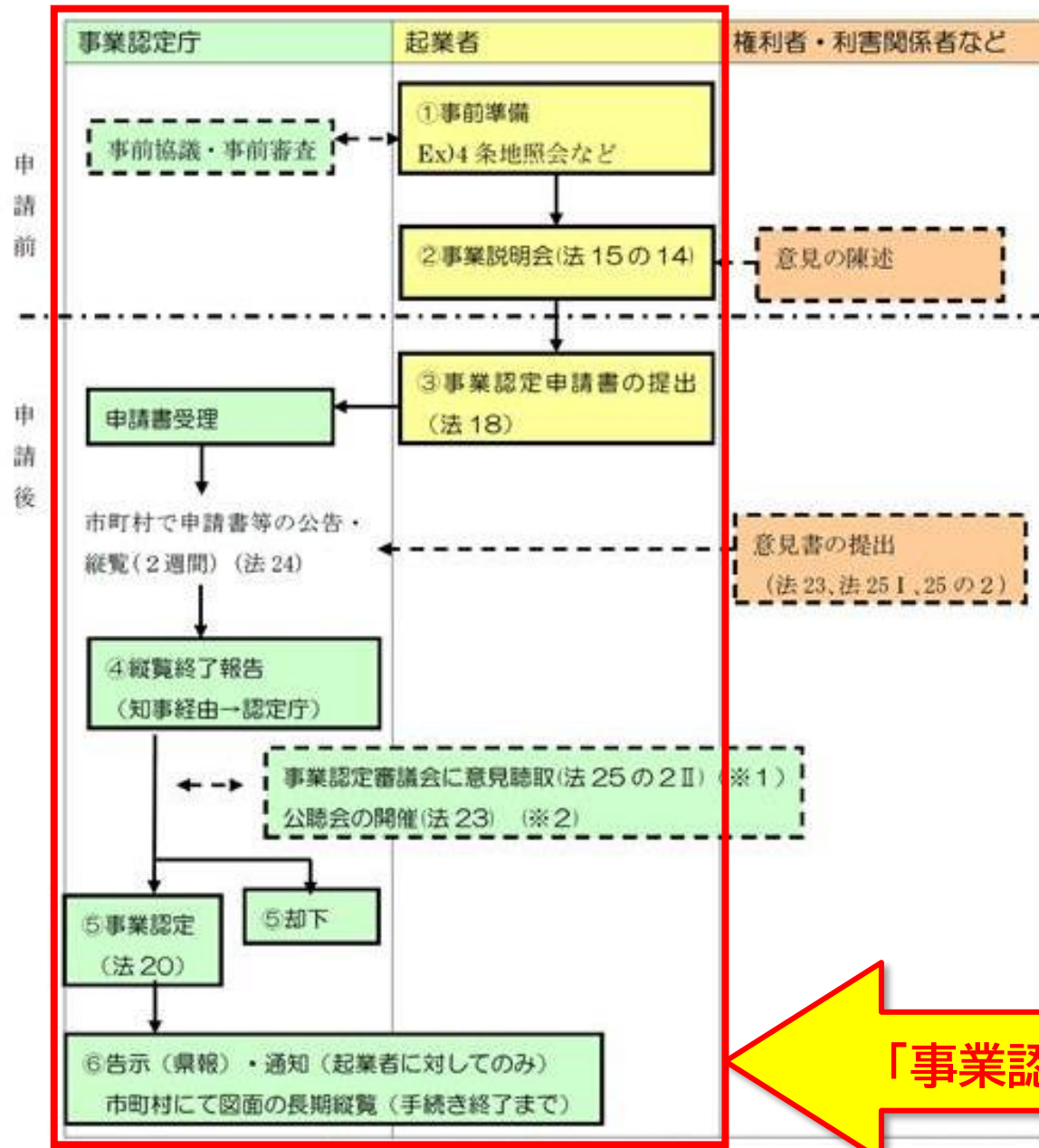
一級河川球磨川水系川辺川ダム建設事業に係る公聴会

市花保 公述資料

2025年9月5日(金)

人吉カルチャーパレス 小ホール

事業認定の流れ



日本国憲法 第二十九条

財産権は、これを侵してはならない。

2 財産権の内容は、公共の福祉に適合するやうに、法律でこれを定める。

3 私有財産は、正当な補償の下に、これを公共のために用ひることができる。

土地収用法 第二十条

国土交通大臣又は都道府県知事は、申請に係る事業が左の各号のすべてに該当するときは、事業の認定をすることができる。

- 一 事業が第三条各号の一に掲げるものに関するものであること。
- 二 起業者が当該事業を遂行する十分な意思と能力を有する者であること。
- 三 事業計画が土地の適正且つ合理的な利用に寄与するものであること。
- 四 土地を収用し、又は使用する公益上の必要があるものであること。

「事業認定庁」=「起業者」に問題あり！

「起業者と事業認定者が同じ行政機関であること」について 複数の専門家が利益相反や中立性の欠如等を指摘

- ・塩野宏 『行政法Ⅰ』

行政手続の基本原則として「公正性の確保」が重要であるが、起業者と事業認定者が同一である場合、自己の事業を自ら承認する「自己承認」の構造をとるため、公正性を損なう危険がある。

- ・櫻井敬子 『行政法』

行政手続における「利害関係の排除」原則の観点から、自己関与の問題を取り上げています。土地収用法の事業認定制度において、同一行政庁が起業者となる場合には「客観的な公益性判断が担保されにくい」と批判的に整理。

- ・稲葉馨 『土地収用法制の研究』

収用制度の公益性審査において「起業者と認定行政庁が同一である場合には、自己の利益追求と公益審査とが衝突し、制度的瑕疵を生む」と分析。

- ・大橋洋一 『土地収用制度と憲法』

憲法29条(財産権保障)との関係で、収用認定手続における「行政の自己承認的構造」を批判。「利益相反的地位にある行政機関が公益性を判定することは、財産権保障の観点から問題がある」と論じている。

●第203回国会 参議院 国土交通委員会 第2号 令和2年11月26日

井上智夫水管理・国土保全局長

人吉市内の人吉大橋付近では球磨川本川の水位が約一・九メートル程度低下し堤防高以下になる、それからまた、人吉市街部から球磨村渡地区にかけての浸水面積が約六割程度減少する、さらに、浸水深が家屋の二階の高さに相当する三メートルを超えることとなる浸水面積は約九割程度減少するなどの効果があることを推計しております。

●第210回国会 参議院 国土交通委員会 第3号 令和4年11月8日

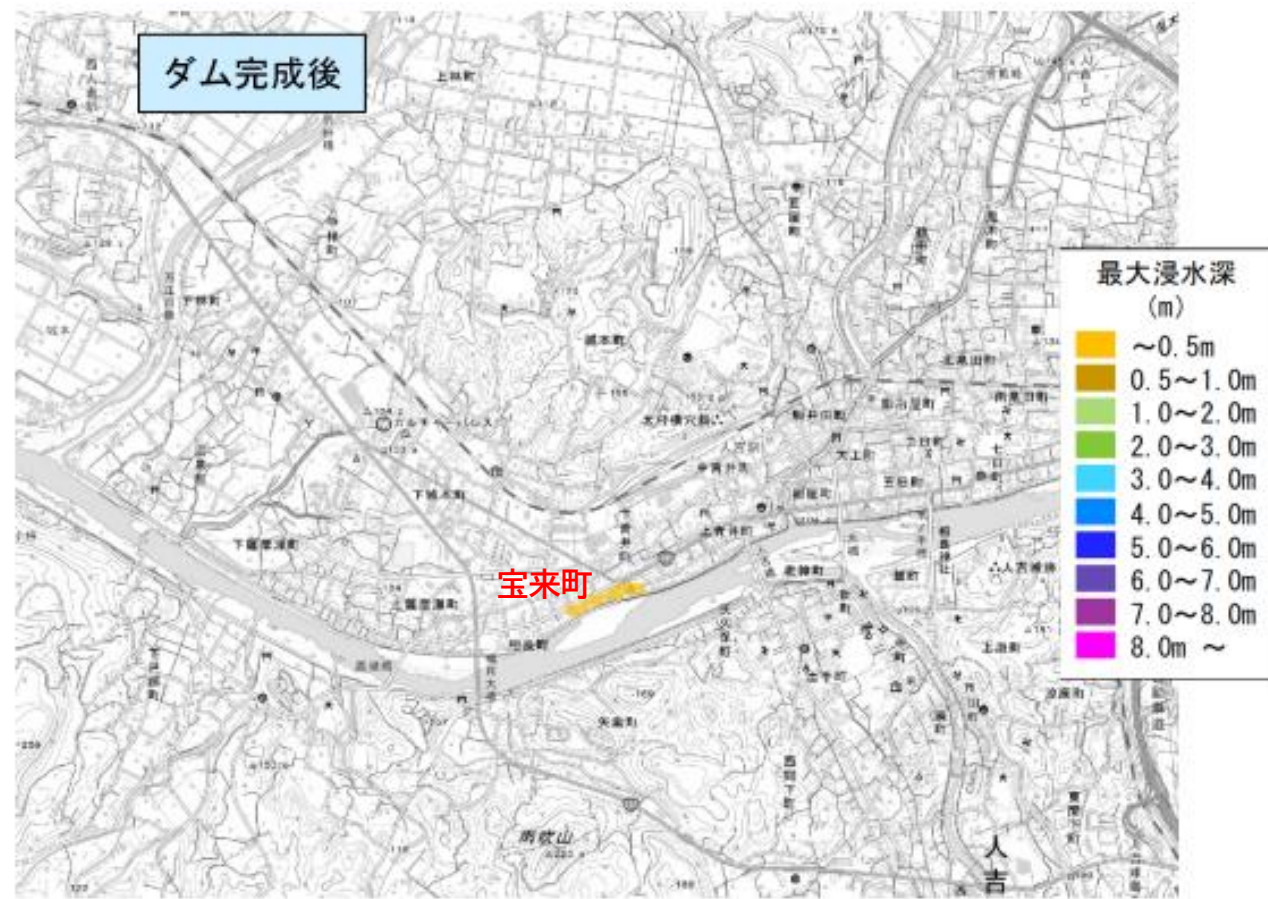
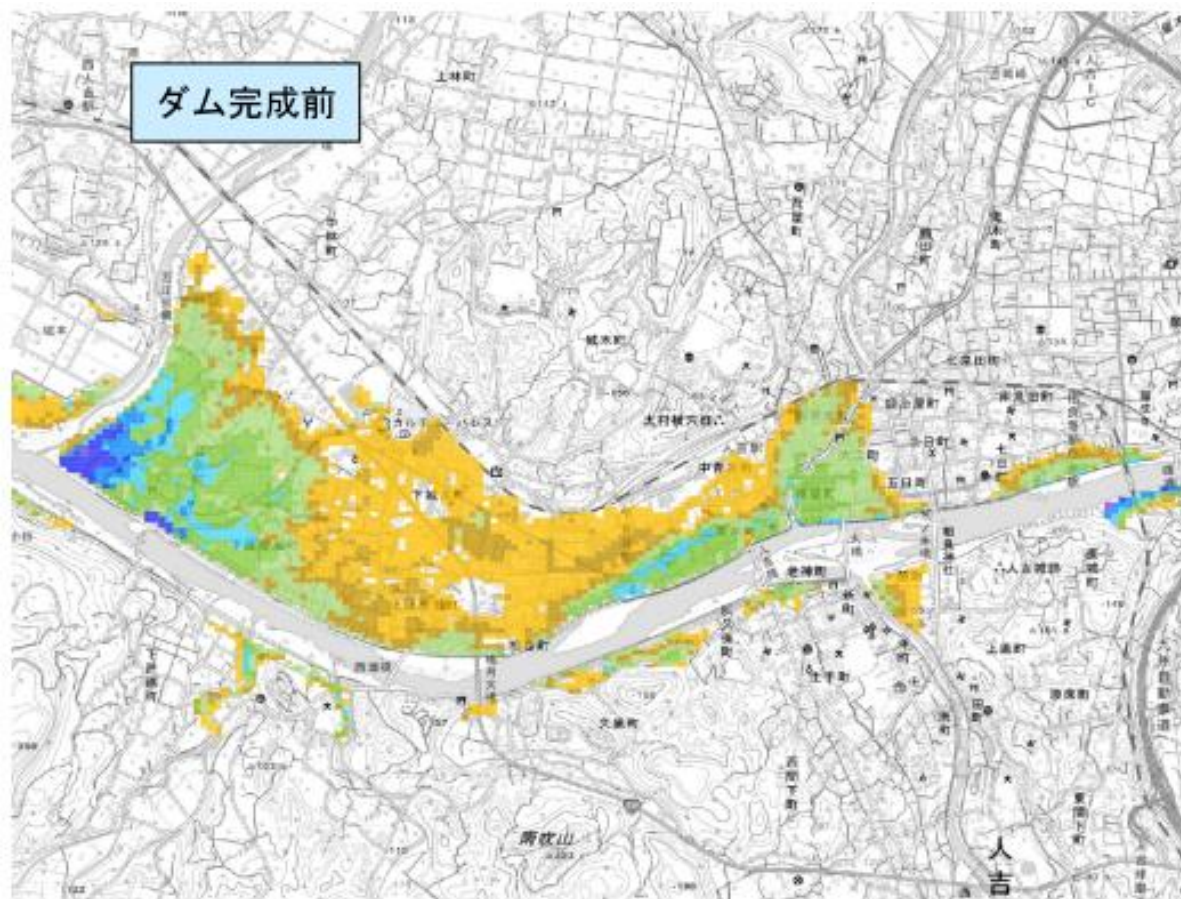
齊藤哲夫国土交通大臣

今年八月に公表した球磨川水系河川整備計画の策定に当たって、想定死者数の軽減効果を一定の条件で算定したところ、百二十人から一人に減少することに加え、残事業の費用便益効果が一・九となったことから、事業再評価において事業継続とされたところでございます。

Q5. 川辺川の流水型ダムにより、どのような事業の投資効果があるのでしょうか。

- 河川整備計画規模（人吉：1/50 横石：1/80）の降雨が生じた場合における被害軽減効果は、浸水面積約7,600ヘクタール減、浸水区域内人口約74,000人減、浸水戸数約48,000戸減と想定しています。
- また、最大孤立者数は24,801人が30人に、想定死者数は120人が1人になると想定しています。

川辺川の流水型ダムに関するよくあるご質問(FAQ)より



最大浸水深図（河川整備計画目標規模：人吉地区）

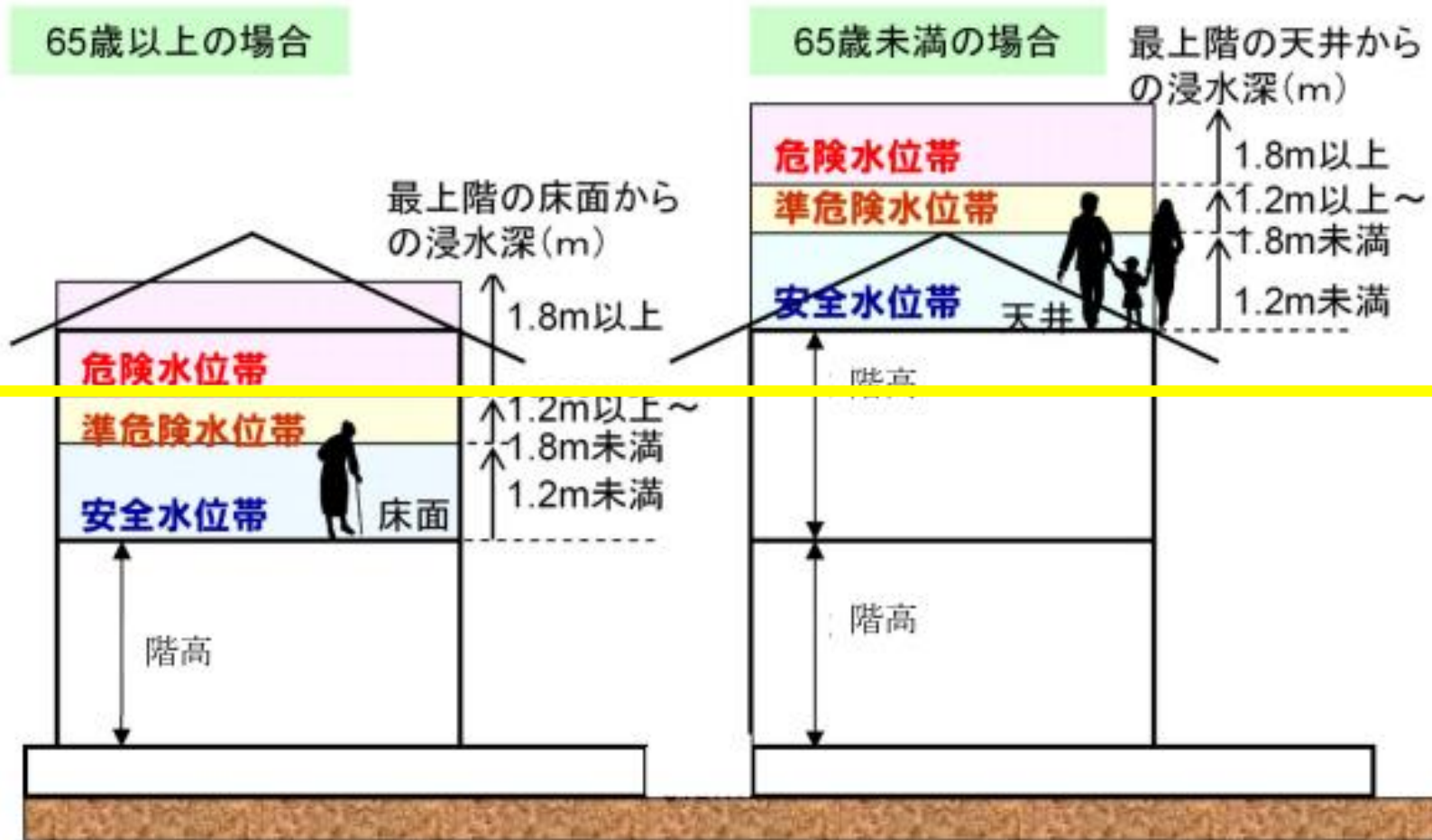
あの日、私たちが体験したのは、猛烈な豪雨によってあっという間に
自宅そばの溝や裏山、道路から迫ってくる濁流だった
ダムが完成後に「宝来町」だけが浸水することはありません

2020.7.4 5:18 青井阿蘇神社



青井阿蘇神社の蓮池が、豪雨により国道に溢れだすことは常態化している

2) 浸水深に応じた死亡率 s の設定 (LIFESim モデルの適用)



	死亡率 (%)
危険水位帯	91.75
準危険水位帯	12.00
安全水位帯	0.023

65歳以上は
屋根に避難できない
(=死亡)として
カウントしている

ダムがあれば犠牲者が 120人→1人 は実態に合うのか？

2020/7/4の9時間雨量

大野 401mm

神瀬 465mm

大槻 434mm

東シナ海からの
大量の水蒸気

豪雨地帯

川岳

大川内

神瀬

大槻

大野

川辺川ダム
建設予定地

球磨

岳本

三ヶ浦

下流域に豪雨地帯 ダム集水域ではない＝ダムは役立たず

東シナ海からの
大量の水蒸気

豪雨地帯

川岳

大川内

神瀬

大槻

大野

岳本

球磨

三ヶ浦

《球磨村の未明の被災状況》

2:00 神瀬地区 消防ポンプによる排水開始

2:30 伊高瀬地区で**土石流**

2:42 小谷地区で**土石流**

3:00 糸原地区 糸原橋と県道冠水で孤立

3:39 記録的短時間大雨情報発表

球磨村付近で110ミリの豪雨

3:40 高沢地区 集落内の県道冠水

4:00 浦野地区 **県道冠水で孤立**

4:10 神瀬地区 山々からの出水で国道が川に

5:00 **糸原橋流失**

5:30 球磨川合流点そばの小川右岸が決壊

6:00 **永椎橋流失**

6:30 高沢、大岩地区で住宅が流失

大槻で7時までの6時間に370mmの豪雨

7時頃、千寿園に

球磨村では未明から猛烈な豪雨→被害発生

下流の狭窄部で多くの橋梁が流失
その際の瀬戸石ダムの様子は
未だに議論されていない！

瀬戸石ダム

川辺川ダム
建設予定地

国交省FAQより

○ 令和2年7月豪雨時の瀬戸石ダムの影響については、施設管理者である電源開発株式会社の公表資料にて「ダム下流約300mの狭窄部からダム地点までに水位が徐々に上昇（約3m）し、ダムの影響により水位が大きく上昇した事実は認められなかった」とされています。

地理院地図

瀬戸石ダム

流れを阻害する ただの障害物と化していた

2020.7.14 瀬戸石ダム右岸上流よりドローンで撮影(写真提供:村山嘉昭)

被災後、ほぼ手付かずの状態
左右に溢れて流れた痕跡が確認できる
道路とゲートに大量の流木が高密度に堆積

国道
219号

ダム撤去こそ 安くて早くて最大の効果が見込める皆が喜ぶ公共事業

1946年



三田

人吉駅

球磨川

2021年



農免道路

下流の市街地の川幅が狭い状態で放置



柳瀬橋下流



上流の状況は？

人吉市

川辺川

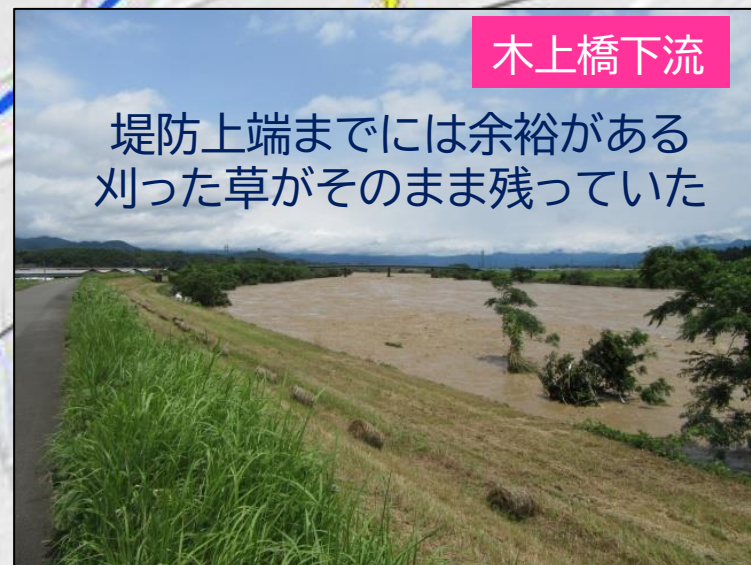
川村駅

川辺川合流点

球磨川

上流の球磨川でも川辺川でも
合流点の大氾濫を起こすほどの
水位上昇は見られなかった

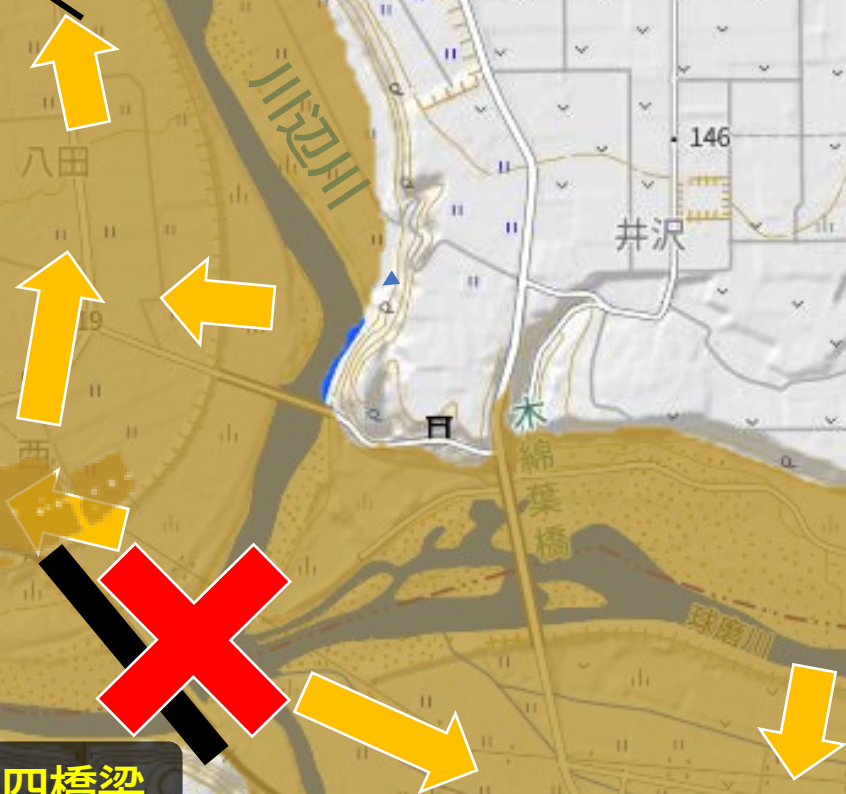
木上橋下流



これまでとは違った洪水流の動き
第四桥梁のダム化がないと起き得ない

(証言)

いつもは上から溢れてくるが
下から水が氾濫してきた
堤防からも溢れてきた



球磨川第四桥梁



2022.7.4 11:12

球磨川

川辺川

木綿葉橋

球磨川

駅通

チェリ

戸

十島

駅

八田

井沢

永谷

上原

一丸

156

141

148

△ 145.9

145

146

121

155

47

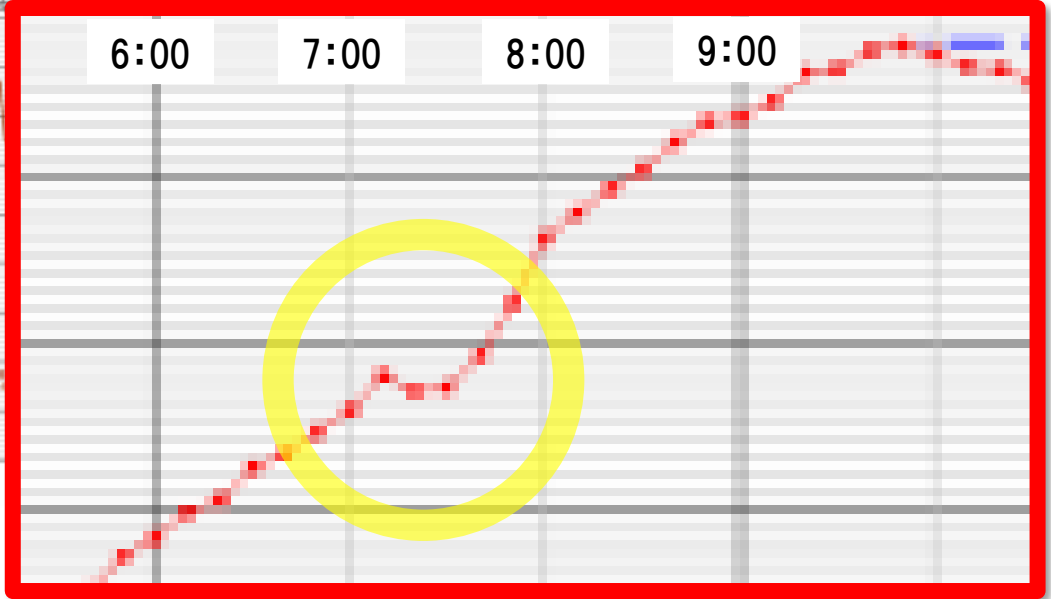
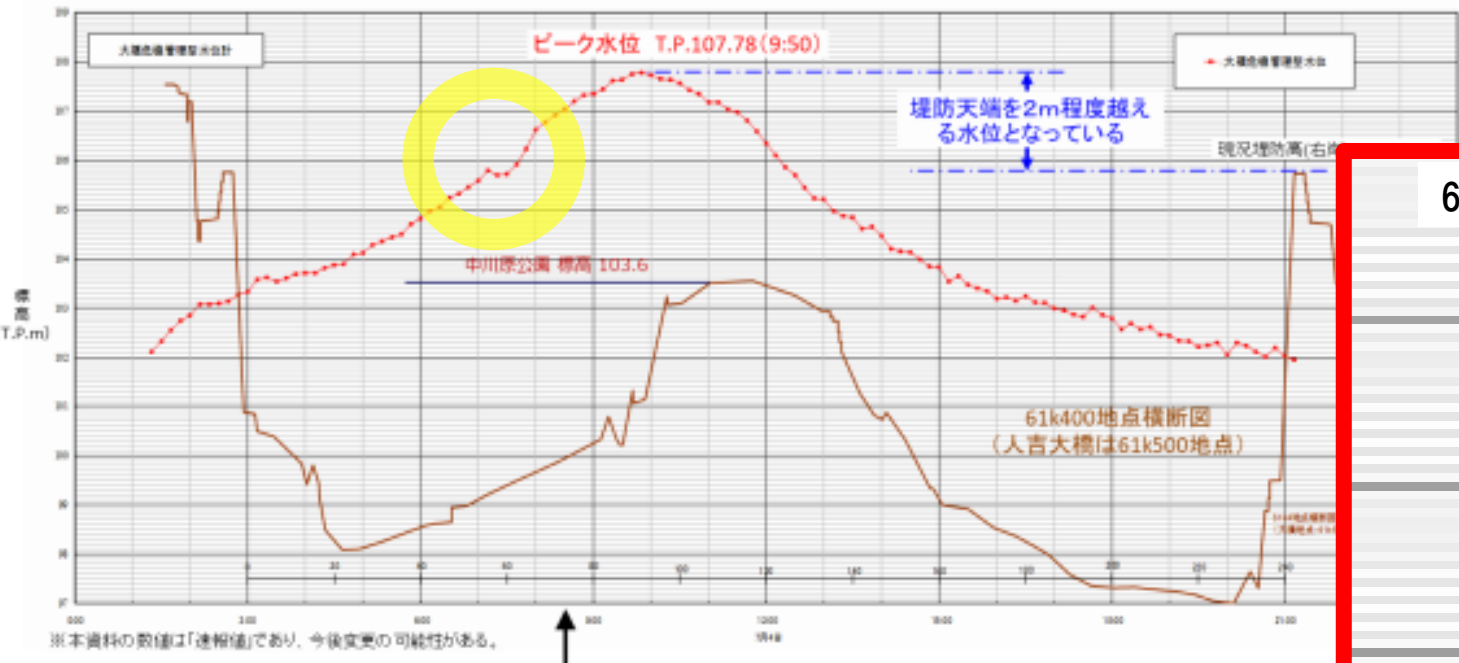
300 m

川辺川の流水型ダムに関するよくあるご質問(FAQ)より

○ 令和2年7月豪雨時の球磨川第四橋梁の流出による影響について、球磨川第四橋梁の流出時間は把握できておりませんが、球磨川第四橋梁より下流の人吉大橋に設置している危機管理型水位計等の10分ごとの水位データにおいて、段波などの急激な水位の変化は確認されていないことから、橋梁の流出が下流に大きな被害をもたらしたものと考えるにくいところです。

段波：津波や高潮などで、壁のように切り立った波が進行する現象

降り続く豪雨で、水位が上昇している7時過ぎに水位が低下している一旦水位上昇が止まったという証言とも一致しており、第四橋梁が流木等で閉塞した状態を示している
その後の段波等による水位上昇がここで見られないのは、この水位計データへの信憑性の問題となる



※人吉水位観測所は、7月4日午前8時30分以降「欠測」
図 人吉大橋危機管理型水位計の観測水位

被災直後の大橋

2020年7月4日16:15

国交省映像記録データベースより

欄干に大量の流木が引っかかり、水位計が完全に水没していたことが分かる



太陽光パネル

国土交通省八代工事事務所 映像記録データベースより

水位計の位置

人吉市九日町
7月4日 10:19



下流右岸から見た人吉大橋
人吉市九日町
7月4日 10:10

水位計の位置



右岸側だけ欄干が壊れている

今回の問題に利害関係のない水位計メーカーの技術者のコメント

動画を見る限りは、水位計は水没か水没に近い状態で、計測不能の期間が生じたと考えるのが妥当だと個人的には思う。

計測値は10分ごとなので、濁流が橋桁を超えるような状態が10分未満ならピーク水位を測定できたとも考えられるが、もっと長く続いていたと思われる。なんとも腑に落ちない計測結果だ。

川辺川の流水型ダムに関するよくあるご質問(FAQ)より

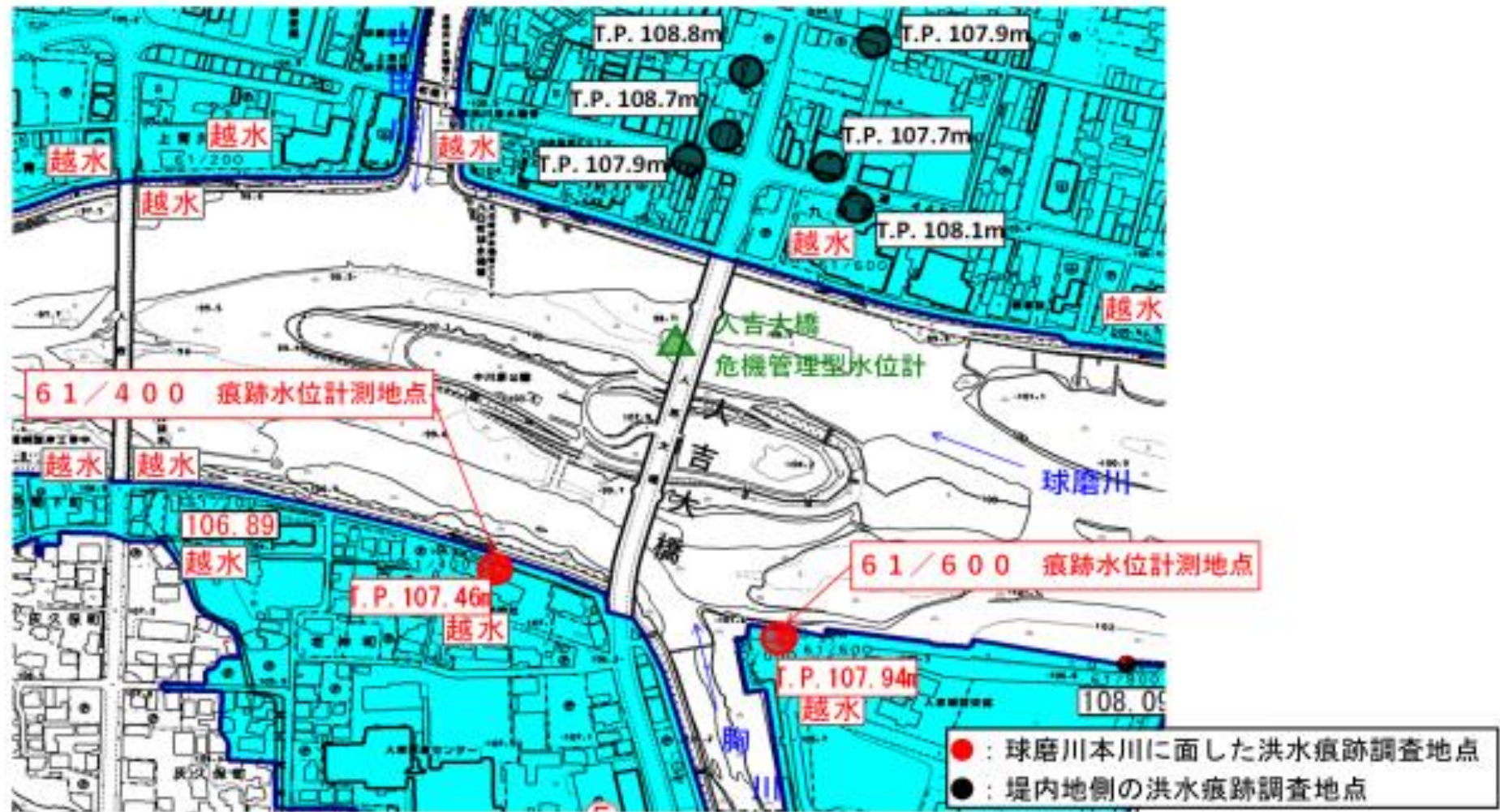
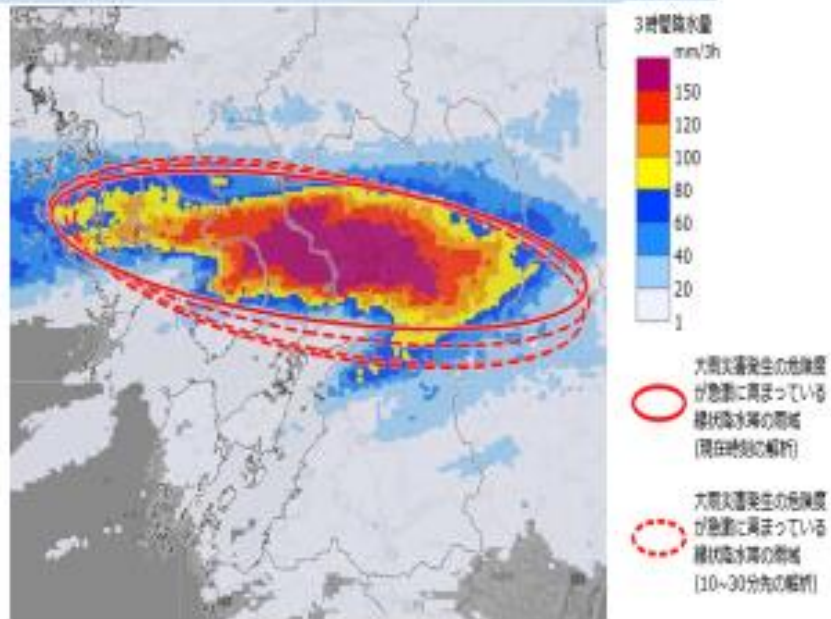


図 人吉大橋周辺における洪水痕跡水位計測状況

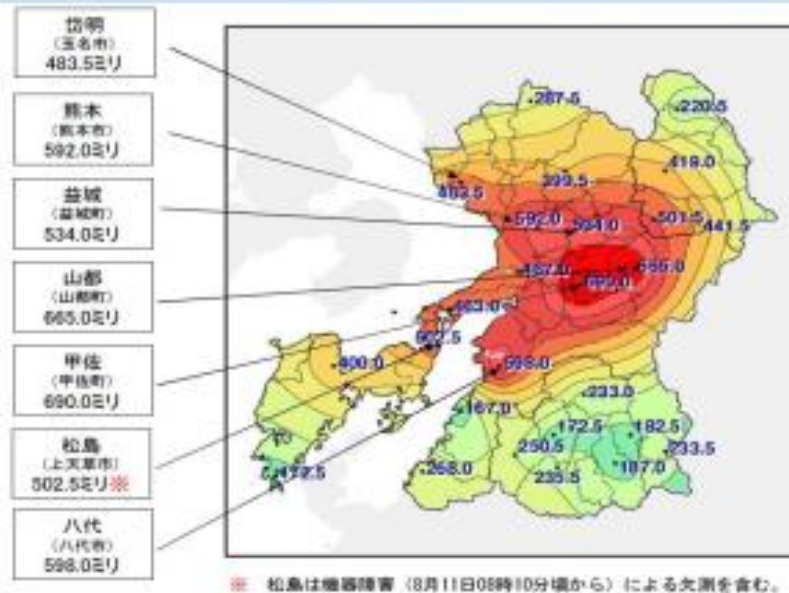
右岸側だけ欄干が壊れている＝洪水流が右岸側に強く流れた＝右岸の水位が高い
なぜ水位が低い左岸の水害痕跡を採用したのか？

8月10日から大雨に関する被害状況と本県の対応について(令和7年8月熊本県)より

8月11日1時時点の3時間降水量



アメダス総降水量の分布図(8月6日~8月11日)



気候変動がもたらす 猛烈な局所集中豪雨

岱明町の至る所では
水深70cmの冠水

そして至る所の谷から
土砂が噴き出してくる

3時間に276mm という
過去にない猛烈な雨では
これまで施された対策は
何ら役に立たず
ダムどころではない

●2025年8月10日 菊池川水系の流域に降った猛烈な豪雨

時 刻	岱 明	玉 東	菊 水	山 鹿	菊 池	泗 水	竜門ダム	尾の岳
22時	92	121	105	80	112	122	62	46
23時	105	62	54	28	43	49	20	28
24時	79	71	57	25	56	55	15	18
3時間計	276	254	232	133	211	226	97	92

公述のまとめ

【憲法29条と財産権制限の重み】

本事業の認定は、憲法29条に規定される財産権を制限を伴うものであり、公共の福祉に基づく「公益性の確保」と同時に「公正性の保障」が特に不可欠です。

【起業者＝認定行政庁という構造的問題】

しかしながら、起業者と認定行政庁が同一であるという構造的な問題により、手続の中立性・公正性が十分に担保されているとは言い難く、公益性の評価が恣意的に歪められる危険が極めて高いと考えます。

【公益性の立証には慎重さと正確性が不可欠】

したがって、この事業の公益性の立証は、通常以上に慎重かつ正確でなければなりません。

【2020年豪雨災害の検証不足という懸念】

ところが、2020年豪雨災害に関しては、検証が不十分であるとの指摘があるにもかかわらず、それを十分に踏まえないまま公益性を主張することは、合理性を欠いた判断であると言わざるを得ません。

【認定申請の見直しを求める】

以上の理由から、起業者はこの事業認定申請を一旦取り下げるべきであり、認定行政庁としても現時点での認定を見送るべきであると考えます。

以上